

平成30年度事業報告について

【新事業創出育成事業】

新事業創出と起業化促進に向けて「ものづくりインキュベーションセンター」の適切な管理運営を行うとともに産学官等関係機関との支援体制の充実強化に向けた各種事業を実施している。

1. 「ものづくりインキュベーションセンター」の運営

11室中11室入居（平成31年4月1日現在）

(1) 新規入居企業(3社)

- ① AT-OS JAPAN株式会社
「医療用ベッドパン洗浄・消毒装置」
・入居開始 平成30年9月1日
- ② 福島コンピューターシステム株式会社
「セキュリティ強化や事業継続計画対策のためのクラウドサービスの構築・提案」
・入居開始 平成30年12月1日
- ③ 株式会社プロトンシステム
「アルミニウム一次電池負極材の研究開発」
・入居開始 平成31年1月4日

(2) インキュベーションセンター入居期間延長

①第1回入居者審査委員会

入居期間満了となる入居2企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔開催日〕 平成30年5月14日（月）

- ・入居期間延長申込2企業の期間延長を決定。

（SAISEI 合同会社、株式会社マイステック）

②第2回入居者審査委員会

入居期間満了となる入居1企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔開催日〕 平成30年8月20日（月）

- ・入居期間延長申込1企業の期間延長を決定。

（株式会社国際情報ネット）

③第3回入居者審査委員会

新規入居申込み2企業に関する審査を実施。

〔開催日〕 平成30年11月12日（月）

- ・新規入居申込2企業の入居を決定。

（福島コンピューターシステム株式会社、株式会社プロトンシステム）

④第4回入居者審査委員会

入居期間満了となる入居4企業の延長申込み及び新規入居申込み2企業に関する審査を実施。

〔開催日〕 平成31年1月30日（水）

- ・入居期間延長申込4企業の期間延長を決定。

（株式会社アスター、株式会社アイアールメディカル工房、株式会社ソーシャルエリアネットワークス、株式会社マルマス）

- ・新規入居申込1企業の入居を決定。

〔株式会社エムケー技研 平成31年4月1日入居
なお、もう1社についても審査は通ったが空室待ちとした。〕

(3) インキュベーションセンター退去

- ・平成30年5月18日 退去 （起業支援室No.3号）

- ・平成31年3月30日 退去 （起業支援室No.10号）

郡山地域テクノポリス推進機構 ものづくりインキュベーションセンター 入居者一覧

（平成31年4月1日現在）

起業支援室No.	企業名・団体名等	研究開発内容	階	タイプ	面積(m ²)	使用料金(円)	入居日	入居承認期間
1	株式会社 アスター 代表取締役 本郷武延	高効率モーターコイルの研究開発	1階	実験室タイプ	42.0	65,100	H29.4.1	H31.4.1 H32.3.31
2	株式会社アイアールメディカル工房 代表取締役 河邊大輔	血管内治療用カテーテル製造事業	1階	実験室タイプ	42.0	65,100	H30.3.1	H31.3.1 H32.2.28
3	AT-OS JAPAN(株) 代表取締役 木村 哲章	医療用汚物洗浄機の開発・製造	2階	事務室タイプ	24.5	37,975	H30.9.1	H30.9.1 H31.8.31
4	株式会社 Social Area Networks 代表取締役 森田 高明	「コミュニケーションで繋がるFioT(Feeling Internet of Things)研究開発」 LPWAをベースとした機器の研究・設計・開発	2階	事務室タイプ	31.1	48,205	H30.3.1	H31.3.1 H32.2.28
5	株式会社マイステック 代表取締役 金井 克也	脊椎手術用開創器システムの開発から事業化	2階	事務室タイプ	30.0	46,500	H28.7.11	H30.7.11 H31.7.10
6	株式会社マルマス 代表取締役 生亀 慎吾	新素材の活用方法の確立と拡大	2階	事務室タイプ	30.0	46,500	H30.3.1	H31.3.1 H32.2.28
7	福島コンピューターシステム(株) 代表取締役社長 芳賀 洋輔	セキュリティ強化や事業継続計画対策のためのクラウドサービスの構築・提案	2階	事務室タイプ	15.0	23,250	H30.12.1	H30.12.1 H31.11.30
8	(株)プロトンシステム 代表取締役 緑川 勲	アルミニウム一次電池負極材の研究開発	2階	事務室タイプ	15.0	23,250	H31.1.4	H31.1.4 H32.1.3
9	株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋	超高齢化社会に向けた介護支援ロボット開発	2階	事務室タイプ	15.0	23,250	H29.10.1	H31.10.1 H32.8.31
10	株式会社エムケー技研 代表取締役社長 諸根 理仁	計測機器のプロトタイプの開発	2階	事務室タイプ	15.0	23,250	H31.4.1	H31.4.1 H32.3.31
11	SAISEI 合同会社 代表社員 増尾 一	メタン分解装置の商品化に向けての開発	2階	事務室タイプ	15.0	23,250	H27.6.2	H30.6.2 H31.6.1
試作C	株式会社 アスター 代表取締役 本郷武延	高効率モーターコイルの研究開発	1階		35.0	54,250	H29.9.1 (H29.4.1)	H31.4.1 H32.3.31

(4) インキュベーションセンター入居者成果発表会

「こおりやま産業博2018」の会場において、当機構ブース内に各入居者の会社案内（ポスター、パンフレット、模型、試作品等）を出展した。

〔開催日〕 平成30年10月5日～7日（3日間）

〔会場〕 ビッグパレットふくしま

〔内容〕 当機構ブース内において6社の会社案内・研究成果等の紹介。

2. 債務保証事業

(1) 債務保証の実績

①平成30年度保証実績

現在 0件

②平成31年3月末現在の保証残高

保証残高はなし。

【技術振興事業】

1. 研修指導事業

(1) 産学連携技術者研修事業

①産学連携製造技術人材育成事業（マイスターズ・カレッジ2018）

ものづくり中小企業の技術者等を対象に、企業・大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、基盤的製造技術（金属加工等）の高度化を図る人材育成事業として、次の2コースにより実施した。なお、イノベーションマスターコースは、ロボットラボで展示したロボット実機を使った講座を実施。

○ファンダメンタルテクノロジーコース

〔研修期間〕 平成30年8月28日～9月28日

〔研修場所〕 福島県立テクノアカデミー郡山

〔講師〕 福島県立テクノアカデミー郡山 指導員 4名

〔受講者数〕 3名

〔内容〕 電子回路の製作とラピッドプロトタイピング

（電子回路設計技術と3D技術を活用し、製品の機能から外観の試作まで学ぶ講座）

・開講式、基調講演（2コース併せて実施）

・実習 24時間（1回3時間×8回）

○イノベーションマスターコース

- 〔研修期間〕 平成30年8月28日～10月30日
- 〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
- 〔講師〕 日本大学工学部 機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏
日本大学工学部 機械工学科 准教授 溝口 知広 氏
日本大学工学部 機械工学科 准教授 高梨 宏之 氏
日本大学工学部 機械工学科 専任講師 遠藤 央 氏
- 〔受講者数〕 5名
- 〔内 容〕 ロボット・センサ・IoT技術に関する講座
(ロボットやセンサを活用することで、生産現場の高度化や整備保守の効率化に役立つ技術を習得できる講座)
・開講式、基調講演(2コース併せて実施)
・座学研修 12 時間(1回1.5時間×8回)

②ちびっ子マイスターズ・カレッジ2018

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会や日本大学工学部等と連携し、小学生(4年生～6年生)とその保護者を対象に、「ロボット動かし隊!」・「コンピューター動かし隊!」の2つのテーマで実施し「ものづくり」や「ICT」について理解を深め、将来を担う子どもたちに「ものづくりやICT」の楽しさを伝えた。

○コース1：ロボット動かし隊! (小学4～6年生対象)

- 〔開催日時〕 平成30年7月21日(土) 午前の部：10:00～12:00
午後の部：13:30～15:30
- 〔会 場〕 日本大学工学部70号館 7013 教室
- 〔参加者数〕 午前の部：19組(親子38名)
午後の部：19組(親子38名)
- 〔講師等〕 日本大学工学部 機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏
日本大学工学部 機械工学科 学生
- 〔内 容〕 ロボットの腕のいろいろな動かし方の講義の後、メカ・ダービー(工作キット)を作りながら、ロボットが動く仕組みについて学んだ。

○コース2：コンピューター動かし隊! (小学4～6年生対象)

- 〔開催日〕 平成30年8月5日(日) 郡山会場(午前・午後の2回)
平成30年8月6日(月) 三春会場(初開催)(午前1回)
平成30年8月7日(火) 須賀川会場(午前・午後の2回)
平成30年8月8日(水) 鏡石会場(午前1回)
平成30年8月8日(水) 石川・玉川会場(午後1回)
- 〔会 場〕 郡山会場：郡山商工会議所

三春会場：自然観察ステーション
 須賀川会場：須賀川市アリーナ
 鏡石会場：鏡石図書館
 石川・玉川会場：福島空港ビル

〔参加者数〕 109名（郡山37名、三春18名、須賀川32名、鏡石8名、石川・玉川14名）
 〔講師等〕 ㈱プレイノベーション 代表取締役社長 菅家 元志 氏
 〔内 容〕 子供向けの教育用プログラミング言語の Scratch（スクラッチ）を使用し、アニメーション、ゲームなどの作品を作りながらプログラミングの基礎を学んだ。

③ 中学生向け医工連携人材育成事業

〔開催日〕 平成30年8月3日（金）
 〔会 場〕 ふくしま医療機器開発支援センター
 〔参加者数〕 40名
 〔講師等〕 日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏
 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 社員
 （一財）ふくしま医療機器産業推進機構 職員
 〔内 容〕 (1) 医工連携人材育成に関する講義 日本大学工学部 酒谷教授
 (2) 体験学習 4班(1班10名)に分け、1ブース30分程度の体験学習を行う。
 ①手術室見学 ②看護体験 ③内視鏡体験 ④模擬手術体験

④ 就職活動を控えた学生の企業視察を仲介

大学等高等教育機関からの依頼により、就職活動を控える学生を対象にテクノポリス圏域企業を知る機会を提供し、雇用の促進につなげました。

〔依頼者〕 日本大学工学部 工学部長 出村 克宣 氏
 〔開催日〕 平成30年10月4日（木）
 〔見学先〕 林精器製造㈱（須賀川市）
 山本電気㈱（須賀川市）
 カンタツ㈱（須賀川市）
 ㈱東北村田製作所（郡山市）
 富士ダイス㈱（郡山市）
 〔参加者〕 機械工学科3年生以上の学生と担当教員 125名
 〔内 容〕 会社概要説明、工場内見学、質疑応答

(2) 科学技術交流事業

① 研究会開催事業

日本大学工学部等との連携による研究会を開催した（アライアンス研究開発推進部会との共催事業）。

○第5回サステナブル地域づくりフォーラム

担当コーディネーター：日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

〔開催日〕 平成30年7月31日（火）

〔場所〕 須賀川市

〔参加者数〕 86名

〔内容〕 持続可能な地域づくりを目指して～in 葛尾村～

○コーディネーターからの話題提供

①日本大学工学部土木工学科 教授 中野 和典 氏

「ロハスの花壇による污水处理施設のグリーンインフラ化を目指して」

②日本大学工学部土木工学科 准教授 朝岡 良浩 氏

「田んぼダム事業による水災害の軽減」

③日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

「橋のセルフメンテナンスふくしまモデルの構築と実践」

○第6回健康医療福祉産業創生フォーラム

担当コーディネーター：日本大学工学部電気電子工学科 教授

次世代工学研究センター長 酒谷 薫 氏

〔開催日〕 平成30年7月6日（金）

〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター

〔参加者数〕 53名

〔内容〕 「統合医療とまちづくり」

第1部 基調講演

講演1 「新たな医療の展開、全人的統合医療～持続可能な健康長寿社会を目指して」

公益財団法人 大阪府保健医療財団

大阪がん循環器病予防センター 所長 伊藤 壽記 氏

講演2 「自然一体型統合医療センター―八ヶ岳、大井川における試み―」

株式会社統合の杜研究所 藤井 美由紀 氏

第2部 パネルディスカッション

パネリスト 酒谷 薫 氏 日本大学工学部電子工学科教授

伊藤 壽記 氏

藤井 美由紀 氏

橋本 弘幸 氏 (株)エヌジェイアイ 代表取締役

春名 秀樹 氏 (ゼビオコーポレート) (株) 副社長執行役員

○第1回ロボットテクノロジーフォーラム「Koriyama Robot Lab」

担当コーディネーター：日本大学工学部機械工学科 教授
日本大学工学研究所次長 柿崎 隆夫 氏

〔開催日〕 平成30年8月28日(火)～平成30年9月28日(金)
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〔参加者数〕 240名

(1)オープニングセレモニー 51名

(2)見学・相談会189名

①企業 65社 125名

②行政、支援機関、金融機関 11団体 39名

③学校 1校 25名

〔内 容〕 企業の生産性向上のための協働ロボットの展示・導入相談会

(1)8月28日 オープニングセレモニー

①テープカット

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 滝田 康雄
郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 会長 林 明博
日本大学工学部 学部長 出村 克宣 氏
会津大学 理事長 岡 隆一 氏
郡山市長 品川 萬里 氏
福島県商工労働部 次長 新関 勝造 氏

②講演1 「Koriyama Robot Lab」

日本大学工学部 教授 柿崎 隆夫 氏

③講演2 「実践！中小工場へのロボット導入ー本格導入のその前に！
レンタルで始めるロボット導入」

オリックス・レンテック(株)

執行役員事業開発本部長兼新規事業開発部長 黒寄 隆二 氏

(2)8月29日～8月31日 見学会

(3)9月1日～9月28日 導入相談会 導入相談件数9社11件

(4)自動化設備・ロボット等導入進捗報告(2月20日現在)

①成 約 2件(ロボット導入1件、ロボットレンタル1件)

②見積等提出 3件

③そ の 他 1件

②ICT高度利用推進事業

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、ICTを活用して高い付加価値を創造できる高度なICT人材の育成を図るため、多様なニーズに対応した研修会等を開催。

○RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）講習会

〔テーマ〕 ①「自治体向け RPA セミナー」

「ふくしま IoT ビジネス共創ラボ紹介」

②「企業向け RPA セミナー」

〔開催日〕 ①平成30年7月11日（水）

②平成30年7月12日（木）

〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室

〔参加者数〕 37名（①19名 ②18名）

〔講師〕 一般社団法人日本 RPA 協会／RPA テクノロジーズ株式会社 永岡 翼 氏
ふくしま IoT ビジネス共創ラボ 大久保 仁 氏

③ 情報化人材育成・研究事業

産業界を中心に大学や研究機関・市町村と連携し、圏域 IT 企業の活性化や起業化、ICT の高度利用促進を図るための講習会等を開催。

○ハッカソン 「Connect 2018 in Koriyama, with UDC」

〔開催日〕 平成30年11月10日（土）～11日（日）

〔会場〕 郡山市青少年会館

〔参加者数〕 82名（12チーム）

〔内容〕 「地域の課題を解決するアプリを作ろう」～オープンデータを活用して～をテーマに、社会人と学生の 12 チームが参加し、1泊2日の合宿形式によるハッカソン（アプリケーション開発イベント）を開催した。

○ハッカソンブラッシュアップ交流会

〔開催日〕 平成30年12月17日（月）

〔会場〕 郡山市役所 本庁舎 2F 「特別会議室」

〔参加者数〕 32名（8チーム）

〔内容〕 ハッカソン「Connect 2018 in Koriyama, with UDC」で開発した作品（アプリ）について、ブラッシュアップした作品の発表と質疑応答、意見交換を行う交流会を開催した。

○ハッカソンアプリ展示（セーフコミュニティフェスタ “こおりやま” 2019）

〔開催日〕 平成31年2月2日（土）

〔会場〕 郡山市立中央公民館

〔参加者数〕 7名（4チーム）

〔内容〕 郡山市セーフティーコミュニティ国際認証取得1周年記念イベント会場において、ハッカソンで開発した作品（アプリ）を展示し、地域課題解決のためのアプリを紹介しながら、市民への理解促進を図った。

④ 産学官交流会等開催事業

関係機関による交流会・講演会への支援。

○第19回 産・学・官連携フォーラム（日本大学工学部との共同主催）

日本大学工学部との共催により、産・学・官 組織の協力体制を強化させるため、各関係機関との連携促進に向けてフォーラムを開催。

〔開催日〕 平成30年11月21日（水）

〔会場〕 日本大学工学部50周年記念館（ハットNE）大講堂

〔テーマ〕 「先に進む企業のためのロボット」

〔参加者数〕 約200名

〔内 容〕

「産」を代表して講演

Koriyama Robot Lab.の取り組みについて

講師 THK 株式会社 常務執行役員 星野 京延 氏

「学」を代表して講演

日本大学理工学部ロボット研究

講師 日本大学理工学部 教授 内木場 文男 氏

講師 日本大学生産工学部 教授 見坐地 一人 氏

講師 日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏

「官」を代表して講演

「福島県ロボット人材育成カリキュラム」について

講師 福島県商工労働部 産業人材育成課長 景山 博 氏

○須賀川市企業間ネットワークセミナー2019（須賀川市主催、テクノポリス共催事業）

須賀川市内外における企業間のネットワークの拡大を推進し、地場産業の活性化を図るため、セミナーによる交流の場を設定し、企業に対する情報発信や企業間連携による研究開発、取引拡大等の機会を提供する。

〔開催日〕 平成31年2月7日（木）

〔場 所〕 グランシア須賀川

〔テーマ〕 「離島からの挑戦」

佐渡精密㈱ 代表取締役社長 末武 和典 氏

「NIGATA SKY PROJECTの取り組みについて」

新潟市 企業立地課航空産業立地推進室長 宮崎 博人 氏

〔参加者数〕 100名

⑤ 郡山地域資源情報発信事業

郡山地域の先進的研究機関、学術研究機関、優良製造業、産業遺産を貴重な地域資源と捉え、地域資源を有機的に結びつけた「サイエンスツアー（産業ツーリズム）」を実施し、郡山地域の魅力を幅広く県内外に情報発信を図った。

○サイエンスツアーin こおりやま2018

〔内 容〕 日大工学部次世代工学技術研究センター
農業施設用ハイブリット再エネシステム“ハイブリット温室”、
郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター等を視察研修
〔参加者等〕

9月14日	いわき市立中央台東小学校施設見学会	81名
11月1日	あさかの学園大学 郷土・生活学科1年	42名
11月14日	あさかの学園大学 健康・福祉学科1年	33名
11月16日	あさかの学園大学 芸術・文化学科1年	36名

(3) 技術情報提供事業

○ NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）との連携による技術情報提供事業

NUBICとの連携によるセミナーや定例相談会の開催等を通じて、大学の有する知的財産の企業への技術移転をはじめ、共同研究の促進など、産学連携活動の円滑化を支援。

〔内 容〕 産学連携・技術・知財に関する相談、企業出前セミナーの開催

〔相 談〕 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで（月1回程度）

相談件数：6件（H31/2/20 現在）

〔企業出前セミナーの開催〕 2件

2. 研究開発活動支援事業

(1) 研究開発コーディネート事業

① 技術コーディネーターの設置

産学官連携や企業間連携の推進を図るための技術コーディネーターを設置。

技術コーディネーターによる企業訪問・相談案件数 439件（平成31年2月20日現在）

※昨年度 168件

② 技術アドバイザーの委嘱

各種助成制度案件に係る事前審査及び成果確認業務等を行うため、日本大学工学部の各学科

（土木、建築、機械、電気電子、生命応用、情報）から教員各1名を、当機構の技術アドバイザーとして委嘱している。

(2) 須賀川市ものづくり企業ガイド情報収集業務（須賀川市業務委託）

須賀川市ものづくり企業ガイド作成業務を新たに受託し、須賀川市内約100社の企業情報について、企業訪問による情報収集を行った。

(3) 福島県再生可能エネルギー一次世代技術開発事業

平成 25 年度から 3 年間の補助事業で実施した「再生可能エネルギー利用次世代型農業施設」を活用した、浅部地中熱活用による「ハーブの高付加価値化」実証等が行われた。

3. 研究開発活動助成事業

(1) F/S（フィージビリティ・スタディ）支援事業

研究開発及び新事業創出に係る実現可能性調査に要する経費の一部を助成。

助成決定件数 1 件

内容：ハーブとスローライフの研究家による、浅部地中熱活用により「ハーブの高付加価値化・高収益実現」のための研究及び実験

(2) 研究開発助成事業

新技術又は新製品の開発、生産工程の合理化又は製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発に要する経費の一部を助成。

助成決定件数 0 件（助成申請件数 1 件（不採択）

(3) 技術等審査委員会の開催

研究開発助成金及び地域技術起業化助成金申請に対し外部審査委員による審査会を開催。

開催日 平成 30 年 7 月 20 日（金）

(4) 技術高度化研修支援事業

技術力向上による取引拡大や組織・経営の確立を図る目的で受講する国・県・市町村、専門教育研修機関及び関連企業等が行う研修で 4 日以上開催する事業

助成決定件数 0 件

【地域技術起業化推進事業】

1. ものづくり起業家育成・支援事業

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議を中核として、事業連携を推進。

(1) 企業連携（アライアンス）の促進

① 会議・交流会等の開催

(7) 役員会

第 1 回〔開催日〕 平成 30 年 5 月 17 日（木）

〔会場〕 ものづくりインキュベーションセンター会議室

〔参加者〕 15 名

- 〔内 容〕 ・ 29年度事業報告及び収支決算報告について
・ 30年度事業計画（案）及び予算（案）について
・ 30年度役員（案）について
・ 新規会員企業（2社）について

第2回〔開催日〕 平成30年8月9日（木）

〔会 場〕 ものづくりインキュベーションセンター会議室

〔参加者〕 15名

- 〔内 容〕 ・ ロボットラボの申込状況について
・ マイスターズ・カレッジの申込状況について
・ 新規会員企業及び退会企業（新規 1社 退会3社）について
・ 企業製品・研究成果等発表会（プレゼン会）について

第3回〔開催日〕 平成30年10月5日（金）

〔会 場〕 テクノポリス推進機構事務室

〔参加者〕 11名

- 〔内 容〕 ・ 上期の事業報告について
・ 下期の主な事業予定について
（特別講演会、産・学・官連携フォーラム）
・ 新規会員企業（1社）について

第4回〔開催日〕 平成31年2月1日（金）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 14名

- 〔内 容〕 ・ 事業実施状況について
・ 退会企業について（3社）
・ 次回の役員会及び平成31年度総会について

(イ)総会

〔開催日〕 平成30年6月6日（水）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 21名

- 〔内 容〕 ・ 29年度事業報告及び収支決算について
・ 30年度事業計画（案）及び予算（案）について
・ 30年度役員について

(ウ)特別講演会

毎年1回会員以外の企業も参加できる講演会を開催

〔開催日〕 平成31年2月

- 〔テーマ〕 日本発の海底探査チーム『「Team KUROSHIO」 Shell Ocean DiscoveryXPRIZE
への挑戦』
- 〔内容〕 国内8つの研究機関・大学・民間企業からなる TeamKUROSHIO の共同代表者である
大木健 氏（国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）所属）にコンテストへ
の参加経緯や探査ロボットの研究開発に係る産・産連携について
- 〔参加者〕 100名

(エ) プレゼン会

○第7回企業製品・研究成果等発表会

- 〔開催日〕 平成30年6月6日（水）
- 〔会場〕 ホテルハマツ
- 〔参加者〕 40名
- 〔内容〕 新規会員企業による企業紹介
株式会社フクジンキャリアサポート
株式会社マイステック
株式会社アイ・エム・ディ

○第8回企業製品・研究成果等発表会

- 〔開催日〕 平成30年10月5日（金）
※こおりやま産業博プレゼンテーション&交流会との併用開催
- 〔会場〕 ビッグパレットふくしま1階ホール
- 〔参加者〕 41名
- 〔内容〕 別記

(オ) 研究開発プロジェクト

生しいたけ自動選別機研究開発

JA 全農ふくしまの依頼によりスタートした生しいたけ自動選別機について、引き続き林精器製造(株)、日本大学工学部との連携により研究開発を進めた。

(2) 研究会活動支援事業（須賀川方部アドホック研究会）

活動内容（総会・例会 等）

- 4月 定期総会
- 5月 年度事業検討会
- 6月 講演会 テーマ：電気電子工学の知恵が最高にクールな理由
講 師：日本大学工学部 准教授 村山嘉延 氏
- 7月 視察研修（福島県）東北電力柳津西山地熱発電所、第二沼沢発電所見学
- 8月 視察研修（福島県）東成イービー東北(株)（郡山市）
- 9月 視察研修（福島県）KoriyamaRobotLab 見学
- 10月 講演会 テーマ：「管理農業と野武士農業」
講 師：にこにこバラ園 代表取締役社長 伊丹雅昭 氏
オプションツアー 株式会社スギヤス福島工場視察（鏡石町）

- 11月 海外視察研修（香港） JETRO 香港事務所、香港ターミナル3ほか
- 12月 海外視察研修報告会
- 1月 平成31年度事業計画の意見交換会
- 2月 須賀川市企業間ネットワークセミナーへの参加 ※当機構共催事業
- 3月 視察研修（ドラッグストアショー：幕張メッセ）

(3) 「こおりやま産業博」等への出展

ビッグパレットふくしまを会場に行われたイベントに出展し、機構のPR等を行った。

〔出展イベント〕

- こおりやま産業博 平成30年10月5日から7日
- デザインセッションふくしま 平成30年10月18日、19日
- REIF ふくしま 平成30年11月7日、8日
- ロボットフェスタふくしま 平成30年11月22日、23日

〔出展内容〕 ものづくりインキュベーションセンターに入居する企業案内（ポスター、パンフレット、模型、試作品、研究成果等）

3. 地域技術起業化支援・助成事業

(1) 新技術・新製品市場開拓支援事業

新技術、新製品の市場開拓や販路拡大につなげることを目的とする産業見本市等への出展や市場等の調査、テストマーケティング、アドバイザーの活用など戦略的マーケティングに要する経費の一部を助成。

○産業見本市等出展支援事業

支援決定件数 0件

(2) 地域技術起業化助成事業

研究段階を終え、起業化の可能性が高まった地域技術を応用可能な段階へと成熟させ、製品化・商品化するため、商品・デザイン開発・情報収集、市場開拓などの事業に要する経費の一部を助成。

助成決定件数 0件

4. コーディネート事業

(1) 産学連携コーディネート業務（郡山市業務委託）

郡山市から平成30年度産学連携コーディネート業務を受託した。

〔業務概要〕 産学金官連携による新事業・新産業創出を推進する。また、企業訪問による新たな連携可能な企業の発掘や情報収集も継続的に実施する。

〔受託期間〕 平成30年6月1日から平成31年3月20日まで

〔業務実績〕

(ア) 企業訪問

- ① 市内企業への訪問 311 社 (平成 31 年 2 月 20 日現在)
- ② 金融機関との連携
 - ・金融機関との勉強会の実施 (経営者を集めた勉強会) 2 回
 - ・勉強会参加企業等へのフォロー 3 件
- ③ 郡山市産業振興事業への参画推進
 - ・こおりやま産業博、メディカルクリエーションふくしま、REIF への参加要請
 - ・「郡山市知財財産マッチング交流会」にかかる参画
 - 平成 31 年 1 月 23 日(水) 13:00~18:30 郡山市労働福祉会館
 - 企業訪問 11 社等
 - 郡山市モデルの形成に向けた企業訪問 3 社

(イ) 産学官のマッチング

- ① FREA との勉強会の実施
 - 日時 平成 30 年 10 月 16 日(火)15:00~
 - 会場 FREA
 - 内容 「FREA との新たな企業連携について」
 - ・企業紹介 2 社
- ② ふくしま医療機器開発支援センターとのマッチング
 - ・センター職員との技術コーディネーターによる企業訪問 1 件
 - ・ボーンチップパー (医療用機器) の設計開発、機器評価
 - 企業紹介 1 件
- ③ 日本大学工学部、会津大学、奥羽大学と企業のマッチング
 - 日本大学工学部
 - 地元企業との機器開発のための連携 2 件
 - 教授への企業紹介 1 件
 - 会津大学
 - 会津大教授との企業訪問 1 件
 - 会津大学のシーズを使用した機器開発の提案書作成
 - 奥羽大学
 - 奥羽大学のシーズ調査を実施、他機関との連携を検討中 1 件
- ④ 学術連携会議構成高等教育機関と企業のマッチング及びフォローアップ
 - 郡山北工業高校との連携 1 社

(ウ) 産学金官による事業化支援

プロジェクトチームの進捗管理

- ① 「生しいたけ自動選別機プロジェクトチーム」
 - JA 全農ふくしま、林精器製造(株)、日本大学工学部

②「ボーンチッパー製作・販売」

総合南東北病院、アサカ精機、サージカルスパイン、医療機器開発支援センター

③ 「コミュニケーションロボットの社会実装」

(株)国際情報ネット、(株)マルマス

(エ) その他

市内企業の情報や企業の製品等を掲載した小冊子の作成

5. ものづくり企業のプレゼンテーション&交流会

こおりやま産業博において、郡山地域に進出している6事業所から自社製品のPR、情報の共有、受発注機会の拡大を目的にプレゼンを行ってもらい、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業との交流会を開催した。会場には、郡山北工業高等学校の生徒40名も出席し、参加企業からはリクルーティングにも繋がったとの声もあった。

〔日 時〕 平成30年10月5日（金）14:00～16:00

〔会 場〕 ビッグパレットふくしま（こおりやま産業博会場内）

〔参加企業〕 保土谷化学工業（株）、東成イービー東北（株）、
（株）東北村田製作所、（株）アスター、（株）日本工営、
（株）デンソー福島

〔参 加 者〕 100名（学生含む）

6. 郡山オープンイノベーション会議（KOI 会議）

郡山市、会津大学、当機構の三者による包括連携協定の締結を受け、企業や地域が持つ課題の解決に向け意見交換を実施。

〔日 時〕 平成30年12月10日（月） 10時00分～11時00分

〔会 場〕 会 場 会津大学 UBIC

〔参 加 者〕 参加者 6名

〔内 容〕 会津大学上級準教授 朱 欣 氏の研究シーズを活用した機器開発

7. ICTを活用した商談会（Linkers）

平成28年12月に締結した当機構とリンカーズ株式会社の覚書に基づき、リンカーズを通じた大手発注企業からの具体的な技術探索依頼に対して、当機構コーディネーターによる目利きにより、圏域企業を受注候補として推薦し、新規取引先の成立を支援している。

発注案件に係る紹介企業数 5件（平成30年4月～平成31年2月）

【広報活動事業】

1. 広報誌「サザンクロス」等による広報

昨年度の活動やピックアップ情報等を盛り込んだ広報誌を作成し、圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布し、事業周知を図った。

2. テクノポリスだより

毎月1日に発行。サザンクロスでは紹介できない講演会の案内や当機構に関する旬な情報を紹介。圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布し、事業周知を図った。

3. ホームページ、SNS(ソーシャルネットワークシステム)による広報

インターネット・ホームページ「テクノ・ニューコメ インフォメーション」や、SNS (Facebook ページ) により、テクノポリスの事業概要をはじめ、各種セミナー、研究会の開催案内・参加募集・開催報告、助成制度案件の募集など、企業に役立つ情報を提供。

4. メールマガジンの発行

会員企業等に各種セミナーや研究会の開催案内・参加募集・開催報告、その他事業等の実施報告、助成制度等の情報を提供するため、メールマガジンを月2回程度発行。

【理事会等の開催】

1. 監査会 平成30年5月24日(木)

平成29年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書、財産目録

2. 理事会 第1回 平成30年6月7日(木)

決議事項 ・平成30年度定時評議員会の招集について
・平成29年度事業報告について
・平成29年度計算書類等について

第2回 平成30年6月28日(木)〈書面〉

決議事項 ・理事長の選定について
・常務理事の選定について

第3回 平成31年3月22日(金)

報告事項 ・平成30年度業務執行状況について
決議事項 ・平成30年度補正予算(案)について
・特定費用準備資金取扱規程の制定について
・「財産運用益減少対応準備資金」及び「再エネ施設改良準備資金」の保有について
・平成31年度事業計画(案)について
・平成31年度当初予算(案)について
・評議員会の招集について

3. 評議員会 第1回 平成30年5月8日(火)〈書面〉

決議事項 ・評議員及び理事の選任について

- 第2回 平成30年6月28日(木) <定時>
- 報告事項・平成29年度事業報告について
- ・平成30年度事業計画について
 - ・平成30年度収支予算について
- 決議事項・平成29年度計算書類等について
- ・評議員の選任について
 - ・理事・監事の選任について

【役員等の異動】

1.評議員

- ・平成30年3月31日 箭内範夫氏 辞任により、平成30年5月8日 村田和哉氏 選任
- ・平成30年6月28日 任期満了による評議員選任
後藤 宏氏から奥崎修司氏への異動以外、全員重任

2.理 事

- ・平成30年3月31日 吉田純治氏 辞任により、平成30年5月8日 添田祐司氏 選任
- ・平成30年6月28日 任期満了による理事選任 全員重任

3.監 事

- ・平成30年6月28日 任期満了による監事選任 全員重任

【事業報告の附属明細書の省略】

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成を省略する。